

国際洞窟学連合：  
昨日、今日そして次の4年に向けて

**George Veni (博士)**  
**UIS 会長**

(日本語訳: 山口文恵、大河内亜由美)

国際洞窟学連合(以下“UIS”)は、洞窟に関するあらゆる事柄についての国連のような団体で、現在、53の国々が加盟しています。これは、新たに選出された UIS の会長としての、私の最初の年会報です。この会報は、加盟国のケイバーに、UIS という組織そのものと、UIS が立てている計画や案、そしてどうしたら私達が一丸となって洞窟学のレベルを世界的に上げることができるかを知ってもらうためのものです。

まず最初に、UIS 加盟国は、UIS の総会に代表として出席する者を選出します。ほとんどの国では、国を代表する洞窟団体は一つで、その組織が代表者を選びます。洞窟関連の全国組織が複数ある国では、組織同士が相談して国の代表者を選びます。どちらの場合でも、選ばれた者はその所属組織ではなく、その国の洞窟に関するあらゆる関係者の代表となります。

総会は、UIS 加盟国主催の、4年に一度の洞窟学国際会議の中で開催されます。総会では、次の4年の間についての事柄を決定します。そのうちの一つに、新しい事務局の選出があります。事務局は UIS の通常業務を行い、また UIS の掲げる目標を達成するための新しい計画を進め、実行していきます。

UIS の目標: 洞窟とカルスト、それに関連する地形などに興味を持つ世界中の人たちの親睦を深める。あらゆる分野(科学、技術、文化、スポーツ、社会、経済)における洞窟学の発展と推進。世界各地の洞窟とカルストの自然遺産を、持続可能な発展のため、洞窟に関する活動や調査が行われている全ての場所で適応可能な方法で保護及び管理を行う(UIS 会則より)。

各事務局のメンバーはそれぞれ異なった国から選出され、異なった職務を遂行します。幹部(会長、事務局長、副会長2名、会計)の職務は内規により決められています。残る7人の事務局補佐の職務は、その能力と関心に合ったものを担ってもらうため、またその時々 UIS の必要性に応じるため、柔軟性を持たせています。

現在の事務局メンバーは2017年7月にオーストラリアで開催された国際会議にて選出されました。

- 会長: George Veni 博士 (アメリカ)
- 事務局長: Fadi Nader 博士 (レバノン)
- 副会長(管理担当): Zdeněk Motyčka (チェコ)
- 副会長(業務担当): Efrain Mercado (プエルトリコ)
- 会計: Nadja Zupan Hajna 博士 (スロベニア)

事務局補佐は以下の方々です。

- Bernard Chirol (フランス)
- Nivaldo Colzato (ブラジル)

- Mladen Garašić 博士(クロアチア)
- 後藤聡 (日本)
- Gyula Hegedus (ハンガリー)
- Tim Moulds 博士 (オーストラリア)
- Bärbel Vogel (ドイツ)

皆さんはいつでも我々事務局メンバーに連絡を取ることができます。連絡先はあなたの国の代表者、私達が発行している全ての文書、そしてより多くの情報を UIS のウェブサイト [www.uis-speleo.org](http://www.uis-speleo.org) から得ることができます。

さて、多くの人が抱いている質問にお答えしましょう。UIS はあなたに何をもちたしてくれのでしょうか？

国際洞窟学会議に出席したことはありますか？私が初めて出席したのは 1981 年で、それはまさしく私の人生を変えました。洞窟学が単なる遊びから科学研究の対象へと変わりうるということを知ってくれたのです。UIS 会議は私を世界中のケイバーと繋げてくれ、また数々の探検と、後の指導教員に会う機会も与えてくれました。UIS 会議への出席が私にもたらした最も重要な事は、私の中に洞窟学に関するあらゆることに対する興味を起こさせ、それは幸運なことに今も私を前進させてくれているということです。そしてこれは私にのみ起こったことではありません。多くの他のケイバーも同じような経験をしています。次の国際洞窟学会議は 2021 年にフランスのリヨンで開催される予定です。今後、UIS のウェブサイトで見てください。

ケイバーにとって、UIS と関わって恩恵を得るための一番良い方法は UIS の委員会に参加することです。委員会とは、洞窟学のある分野に特化した専門的なグループです。委員会には洞窟救助委員会、技術・装備委員会などレクリエーション活動としてのケイビングのためのもの、また、洞窟生物学やカルスト水文学、洞窟形成学などの高度な科学的分野を専門とするものもあります。疑似カルスト委員会や火山洞窟委員会など、多くの委員会ではファンケイビングを行うケイバーと科学者が共に集まっています。UIS には 22 の委員会があり、ほぼ全ての洞窟学の分野をカバーしています。委員会に参加するには、UIS のウェブサイトで見つけ、委員に参加したい旨を伝えるだけでよいのです。お金はかかりませんし、活動的で委員会の内容に興味のある方なら歓迎されるでしょう。UIS 事務局は、委員会の目標を達成するために毎年 2000 ユーロを上限に補助しています。

UIS のウェブサイトを訪れたら、洞窟に関するたくさんの知識やイベントなどの情報が手に入れます。委員会のウェブサイトはたくさんの専門的なニュースや情報に溢れています。「カルスト情報ポータル (Karst Information Portal)」は、洞窟に関する全ての事柄について探ることができる無料のオンライン図書館です。UIS のプロジェクトの一つであり、他組織と協力して作られました。もしあなたのクラブの会報がポータルに上げられていない場合、是非載せることを検討してみてください。他の洞窟界の皆さんとあなたの業績を分かち合うチャンスです。UIS の「国際洞窟学雑誌 (International Journal of Speleology)」は洞窟の科学的情報の発信元としては世界で最も重要な機関誌です。José Ayrton Labegalini 元会長による書籍「UIS の 50 年: 1965～2015 年 (Fifty Years of the UIS, 1965-2015)」は UIS の歴史と現在の洞窟学を知るのに最適です。UIS が今何をしているか、どのように UIS に関われるかを知りたい場合は、最新の会報「UIS Bulletin」をご覧ください。

UIS のとても重要な特徴は、洞窟学はスポーツの専門家と学術の専門家が依存し合っているテーマであるということです。スポーツケイバーは洞窟を発見し、探検し、測量をします。ケイバー達の実力により科学者達の研究が可能になります。科学的成果は、洞窟が価値あるもので、適切に管理される必要があることを証明します。教育者が一般市民と政治家達に洞窟の重要性を教えることにより、さらなる探検を可能にする洞窟とカルスト地域の保護につながる…このように循環が繰り返され、拡大していきます。

UIS は、遠征や会議への出資(部分的なものも含む)、訓練や研究プログラムの企画、洞窟・カルストの最善の管理をするための観光洞や政府に対する支援を行ってきました。昨年、オーストラリアで行った国際会議の際、UIS は国際観光洞協会との重要な覚書を更新しました。それ以降、事務局は他の主要な科学的・政治的協力を進め始めました。2017 年 11 月には UIS は国連非政府組織(NGO)として認定されました。

UIS 事務局の私達は皆、ケイビングに行くよりも、洞窟学を皆にとってより良いものとするため、以上のような協力関係を築いています。これらの関係は研究、管理、教育のための財政的支援を得る機会になります。一般的に探検への資金提供があまりないことから、UIS 事務局は現在、より多くの遠征やプロジェクトを支援するための資金を他の財源から集める方法について特に検討しています。先頃、UIS はキプロスでの洞窟探検、測量、研究プロジェクトのために欧州連合から資金を確保することを支援しました。洞窟学のすべての側面は重要で、つながっており、UIS はいずれも軽視しません。

そろそろ皆さんは UIS の将来計画について疑問を抱いていることでしょう。2015 年の UIS の 50 周年祝賀会で、Kyung Sik Woo 会長(当時)は、2021 年を「洞窟とカルストの国際年」とするよう国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)に働きかけることを明らかにしました。国際年は世界的規模で一般市民に対して重要なテーマを広めること、一般市民と行政機関の支持を得ること、探検・研究・管理やあらゆる必要なことへの資金援助や機会を増やす大きなチャンスです。

2015 年以降、UIS 事務局は国際年のために熱心に取り組んできました。これまでに 4 カ国(ベルギー、クロアチア、ハンガリー、スロベニア)、8 つの国際機関、12 カ国にある 21 の国家機関から支援を表明する公式文書をいただきました。この進捗はありますが、私達にはユネスコへ国際年の提案をする国が必要です。ユネスコ加盟国だけが提案でき、外部機関は提案ができません。いくつかの国が提案をすることを検討してくださっていますが、国際年の決定に影響を及ぼすような私達の働きかけ以上に政治的な駆け引きがあります。私達は今も待ち望み、支持を得るための新しい戦略を練っています。例えば、ユネスコではなく国連へ提案することもできるでしょう。もしあなたがあなたの国に公式な支持を依頼したり、洞窟とカルストのための国際年について提案したりするための人脈をお持ちの場合は、私にご連絡くださいますようお願いいたします。ユネスコの次回総会は 2019 年後半に開催されるため、それまでに提案国が見つかることを期待します。

国際年に対する私達の取組がもし成功すれば、UIS 全加盟国に洞窟学を盛り上げるための行事や活動を各国で企画していただく必要があります。もし成功しない場合でも、洞窟やカルストが重要であることを一般や政府に示すため、それらの活動を 2021 年に実施することがより一層重要になります。あなたの組織がどのような行事を企画できるか、検討しはじめてください。ユネスコまたは国連の支持が得られるととても素晴らしいのですが、もし支持が得られなかったとし

でも、私達自身で国際年を実施することもできます。どちらの場合にも対応できるよう、私はアイデアや具体的なリクエストを追ってお伝えします。

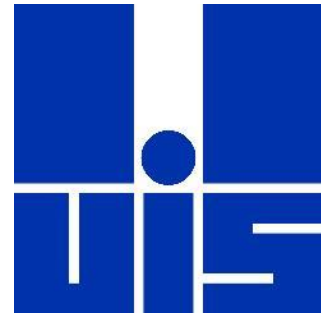
UIS があなたに何をもたらすかを考えるときは、あなたが UIS のためにできることを思い浮かべてみてください。UIS はボランティアの組織です。成功は、私達全員のためです。ですが、その成功は洞窟学関係者が力を合わせることで実現します。もちろん、あなたが直接、UIS に協力することもおすすめしますが、地元・地域・国の組織を支援することも UIS の助けになります。単独より協働の方がはるかに多くのことができるのです。

ケイバーが洞窟学講習、洞窟保護、出版、研究、そして昨年、シドニーで私達が楽しんだような素晴らしい国際会議の企画準備にも手伝いを申し出ること、私はいつも感銘を受けます。さらに、集団として、ケイバー達は問題解決のために最も順応性があり、創造性に富むことに気付いたのです。あなたの支援により、次の 4 年間で洞窟学にとって最高のものになり、そして UIS にとっても最高のものになるでしょう。もし UIS のために何かアイデアがある場合や、質問をするために私に連絡したい場合や支援を申し出たい場合は、どうぞ私 ([gveni\(at\)nckri.org](mailto:gveni@nckri.org)) にご連絡ください。あなたと共に働くこと、そして UIS および洞窟学の発展を楽しみにしています。

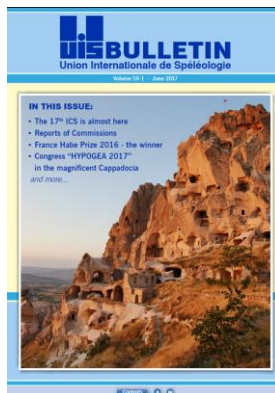
(※訳者注:メールアドレス内の「(at)」は@ (半角アットマーク)に置き換えて下さい。)



UIS は、1965 年に UIS が設立された地である  
スロベニアで法人組織化されています。  
ポストイナ(スロベニア)にある  
カルスト研究所本部内に UIS の事務所があります。



UIS ロゴ



UIS 会報表紙



DSC\_8844: Julia James 博士 (UIS 元会長) による  
オーストラリア・Jenolan 洞窟巡検。世界中から集まった  
地質学者のため、第 17 回国際洞窟学会議中に行われました。





UIS 事務局 (2017～2021 年)

左から右: Efrain Mercado, Gyula Hegedus, Mladen Garašić, Zdeněk Motyčka, 後藤聡, George Veni,  
Nadja Zupan Hajna, Bärbel Vogel, Fadi Nader, Bernard Chirol, Nivaldo Colzato, Tim Moulds.  
(メインの写真は Mladen Garašić 氏のご厚意により掲載)